



## NEWS RELEASE

報道資料  
2009年6月1日  
(日本時間)

アプライド マテリアルズの世界最大規格のソーラーパネルが IEC 認証を取得

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、会長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 5 月 29 日 (現地時間)、薄膜太陽電池製造ライン SunFab Thin Film Line™ で生産された単接合およびタンデム接合の 5.7 m<sup>2</sup>太陽電池モジュールが、長期屋外暴露試験で優れた性能を発揮し、国際電気標準会議 (IEC) の認証を取得したことを発表しました。この太陽電池モジュールは現行のソーラーパネルとしては世界最大の面積を持ち、これを電力事業規模の薄膜型ソーラーファームに広く採用することで、クリーン電力のさらなるコストダウンが可能となります。

アプライド マテリアルズのシニアバイスプレジデント兼ジェネラルマネージャー (ディスプレイ & SunFab ソーラー ビジネスグループ)、ランディア・タッカーは次のように述べています。「5.7 m<sup>2</sup>モジュールは今後、大規模ソーラー発電の主流となるでしょう。SunFab 製造ラインの技術を超大型パネルに適用することによって、製造コストや設置コストの引き下げが可能となり、安価な再生可能エネルギーへの需要を長期的に満たすソリューションが実現します」

認証プロセスは試験認証機関 TÜV InterCert によって実施され、SunFab モジュールが IEC の 61646 及び 61730 規格を満たすことが確認されました。TÜV InterCert の社長兼 CEO セルジツァレア氏は次のように述べています。「アプライド マテリアルズの 5.7 m<sup>2</sup>モジュールは、当社が従来検査してきたモジュールと比べると、面積が 4 倍以上となっています。このモジュールをテストするため、当方では試験設備の調整や装置の追加を実施しました。これだけのサイズの太陽電池モジュールを物理的・電氣的な安定性を確保しつつ製造し、IEC の試験すべてに合格したことは、まさに技術上の快挙といえます」

同じくアプライドの SunFab ラインで製造されている 4 分の 1 サイズの 1.4 m<sup>2</sup>モジュールは、すでに今年初めに IEC 認証を取得しています。しかし、フルサイズの 5.7 m<sup>2</sup>モジュールにおいて、何年にもわたり日照や極限温度、風雨などにさらしても高い出力が維持できることを示すことは、新たなチャレンジでした。アプライド マテリアルズは、フラットパネルディスプレイや建築用ガラスの製造装置で培った技術力を活かし、大面積のモジュール全面にわたって均一な変換性能を実現しました。さらに、あらかじめパネル裏面に接着式レ

ールをつける革新的な構造によってモジュールの強度を高めた結果、風や地震に耐える力が増したほか、取り付けもきわめて容易になり、設置コストの引き下げが可能となっています。

アプライド マテリアルズは、半導体チップ、フラットパネル、太陽電池、フレキシブルエレクトロニクス、省エネガラスの製造におけるイノベティブな装置、サービスおよびソフトウェア製品を幅広く提供する Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグローバルリーダーです。アプライド マテリアルズは、人々のライフスタイルを向上させるナノマニュファクチャリングテクノロジーを提供します。

詳しい情報はホームページ：<http://www.appliedmaterials.com> でもご覧いただけます。

\*\*\*\*\*  
このリリースは5月29日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社（本社：東京都、代表取締役社長：渡辺徹）は1979年10月に設立。大阪支店ほか12のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社  
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー  
社長室：大橋 百合（Tel: 03-6812-6801 / Fax: 03-6812-6831）  
ホームページ：<http://www.appliedmaterials.com>

---